

		ページ数	委員意見	事務局回答
第1部会	1	p14	「サクセスフルな、サステナブル。」がどう伝わるか疑問である。	環境を含み、社会インフラ（道路や公園など）、農業、自治会活動や行財政運営など、「維持・継続が求められる事業等としっかりと向き合っていく」という方向性で、担当課と調整しながら、表記を検討します。
	2	全体	「ひと」が真ん中にあるって、「暮らし」「まち」があるというストーリーが伝わるように入れ替えを含めて考えてほしい。	総合計画の理念「ふだんを生きる、じぶんが活きる。知るほど暮らすほど「好き。」が深まる千年都市。」を3つの問いとその答えにより紐解く構成にしています。今後、デザインやイラストにより、伝わりやすい冊子となるよう心掛けます。
第2部会	3	前半	前半の一問一答について、答えを導きたいがための問いに見えることが気になる。	検討します。
	4	p14	「サクセスフルな、サステナブル。」がイメージできない。環境を前面に押し出した方がわかりやすいのでは。	環境を含み、社会インフラ（道路や公園など）、農業、自治会活動や行財政運営など、「維持・継続が求められる事業等としっかりと向き合っていく」という方向性で、担当課と調整しながら、説明文の表現を検討し、コピーはそのまま残したいと考えています。
	5	p14	「サクセスフルな、サステナブル。」は作り手主導でわかりにくい。	同上です。
	6	全体	「千年都市」について、河内長野を「都市」とイメージする人はいないのではないか。	「都市」と表現するより「まち」と表現する方が河内長野のイメージに合うというご意見が多く、事務局で検討を重ね、「千年のまち」と修正する方向で検討します。
	7	全体	「具体的な施策について、基本計画で検討する」ことがわかりやすく伝わるようにした方がよい。	パブリックコメント発出時、パブリックコメントに関する説明文に明記することとします。
	8	全体	基本構想のどこかで、「考え続けていく」ということを表現してほしい。	検討します。
第3部会	9	前半	本当に若年人口が増えているのか、空き家率がどうなのか、根拠が不明である。	前半部分すべてのQAについて、出典を明確にしながら根拠を説明します。また、説明については、本編の文字を増やさず、簡単に参照できるよう、QRコード等でアクセスできる仕組みを整える予定です。
	10	p10	地元産の肉がないのに「BBQ」では、野菜だけになってしまう。	BBQは象徴的な例として具体的なイメージを持たせるためコピーとして活用していますが、表現について慎重に検討します。
	11	p11	「・・・基盤づくりが進み、・・・」とあるが、現状では進んでいないという印象を与えてしまうのではないか。	「十分進んでいるところ」、「これから進めるところ」、「進んだものの改めて補修整備を進めるべきところ」など様々あると思いますが、それらを包含して「基盤づくりが進」んでいる状態を目指したいと考えています。
	12	p11	「防災・防犯」の順番が気になる。	市の他の計画等でどのような順番になっていたかも含めて確認し、表記を検討します。
	13	p11	鍵括弧の中に句点（。）があると読みづらい。	表現を検討します。
	14	p13	「才」ではなく、「歳」としては。	表記を検討します。
	15	p13	「大人たち」から「たち」を削除しては。	表現を検討します。
	16	p13	市内には、もうニュータウンはないのでは。	国土交通省の全国ニュータウンリストにおいて、河内長野市に南花台外8つの地区がニュータウンとして掲載されています。計画的に整備されたニュータウンが整備から時間が経過した後も、良好な住宅地として住の選択肢の一つとして受け継がれていけばと考えています。
	17	p15	「吹奏楽団」という表現は特定しすぎているのではないか。	具体的な団体を例示した方がイメージしやすいと考えていますが、最終的に何を例示するかは検討します。
	18	全体	自治体としての強みを活かして勝負する具体策を示してほしい。	具体的な施策、必要な施策については、今ある課題と照合し、次年度に策定する基本計画に落とし込んでいきます。
	19	全体	「市外の人が河内長野をどう見ているか」の視点が抜け落ちているように感じる。	ご意見として参考にします。